JR九州労組ニュース

No. 5
2023年
7 月18日

九州旅客鉄道労働組合
発行責任者　吉田祥司

学ぼう政策！ その1

政策活動ってなに？

団体や個人が公共的な問題（政治的な問題）についてとるべき方向や態度を決め、その方針に沿って活動を進めていくことです。

なぜ労働組合が政策活動に取り組むの？

労働組合の役割は、組合員の雇用を守り、労働条件を維持・向上することです。しかし、企業内の労使間だけでは解決できない問題も多く、国や地方の法律や条例の改正、予算の確保・拡充等に向けた政策・政治活動に取り組むことが必要不可欠です。

JR九州労組でも私たちの掲げる政策や制度、考え方を理解してくれる政治家と連携し、JRの抱える課題を国会や地方議会で発信して貰うなど、課題解決に向けた取り組みを進めています。

JR九州労組の交通重点政策意見交換会に参加した森本由美議員が北九州市議会の6月定例会で発言！

「地域公共交通の充実について」

- 公共交通事業者を取り巻く環境は厳しく、行政や地域の協力が不可欠である。
- 公共交通への財政支援はクロスセクター効果※の視点から検討してはどうか。
- JR に無人駅が増加しているが駅舎の有効活用に市が支援をしてはどうか。

JR九州労組の政策活動に連携・協働する議員をこれからも応援します

※クロスセクター効果とは、「地域公共交通の運行に対して行政が負担している財政支出」と「地域公共交通を廃止した時に追加的に必要となる分野別代替費用（スクールバスや病院の送迎バスなど）」のコスト同士を比較して把握する地域公共交通の多面的な効果のことです。